

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)

【公開番号】特開 2022-81827(P2022-81827A)
 【公開日】令和 4 年 6 月 1 日(2022.6.1)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-097
 【出願番号】特願 2020-193015(P2020-193015)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 17 日(2022.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透光部を有する第 1 の可動体と、

透光部を有し、前記第 1 の可動体よりも前方に設けられた第 2 の可動体と、

前記第 1 の可動体の透光部よりも後方に設けられた第 1 の発光手段と、

を備え、

前記第 1 の可動体及び前記第 2 の可動体は、前記第 1 の可動体を介した前記第 1 の発光手段からの光により前記第 2 の可動体の透光部が前方から視認可能に発光する第 1 の状態と、前記第 1 の状態である前記第 2 の可動体を構成する部材が当該第 1 の状態における前記部材の外形を変化させずに前記第 1 の可動体に対して相対的に動作することにより、前記第 1 の発光手段からの光により前記第 1 の可動体の透光部が前方から視認可能に発光する第 2 の状態と、に動作可能であり、

30

前記第 1 の可動体の透光部には、遊技者が視認可能な所定の図柄が施され、

前記第 2 の可動体が前記第 1 の状態の場合には前記所定の図柄が視認困難となり、前記第 2 の可動体が前記第 2 の状態の場合には前記所定の図柄が視認容易となる、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明に係る遊技機は、透光部を有する第 1 の可動体と、透光部を有し、前記第 1 の可動体よりも前方に設けられた第 2 の可動体と、前記第 1 の可動体の透光部よりも後方に設けられた第 1 の発光手段と、を備え、前記第 1 の可動体及び前記第 2 の可動体は、前記第 1 の可動体を介した前記第 1 の発光手段からの光により前記第 2 の可動体の透光部が前方から視認可能に発光する第 1 の状態と、前記第 1 の状態である前記第 2 の可動体を構成する部材が当該第 1 の状態における前記部材の外形を変化させずに前記第 1 の可動体に対して相対的に動作することにより、前記第 1 の発光手段からの光により前記第 1 の可動体の透

50

光部が前方から視認可能に発光する第２の状態と、に動作可能であり、前記第１の可動体の透光部には、遊技者が視認可能な所定の図柄が施され、前記第２の可動体が前記第１の状態の場合には前記所定の図柄が視認困難となり、前記第２の可動体が前記第２の状態の場合には前記所定の図柄が視認容易となることを特徴とする。

10

20

30

40

50